

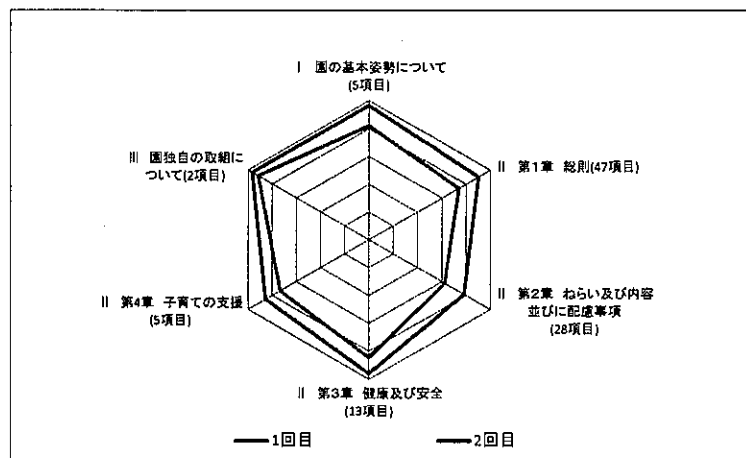
<評価方法>

十分理解できている(十分にできている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果（チェック回分）

評 価	1回目				2回目			
	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	26	21	3	0	45	5	0	0
II 第1章 総則(47項目)	171	233	65	1	338	128	4	0
第2章 わらい及び内容並びに配慮事項(28項目)	70	105	105	0	122	135	23	0
第3章 健康及び安全(13項目)	75	49	6	0	114	16	0	0
第4章 子育ての支援(5項目)	16	28	6	0	28	22	0	0
III 園独自の取組について(2項目)	15	5	0	0	18	2	0	0

レーダー



<成果>

◎今年度初めて「糸満市幼小連携支援事業公開・保育協議会発表園」となり、テーマの「自然との出会い 関わりを通して」より子どもの育ちを探究していく事ができた。
園全体で目標に向かい学びを深めていく過程は、講師の指導助言や協議会資料の作成等理論や実践の技術の向上にもつながっていた。
行事のあり方については「何を大切にしていくのか？」を常に考え、創意工夫を重ねていった。保護者の共感の声も多く寄せられ、次に生かしていく事につながっていた。

<課題>

◎子どもが主体的に環境に関わり自己を発揮し、こどもの発想や子ども同士の話し合いで、あそびが展開していけるような創意工夫を重ねていく必要がある。
◎こどもたち一人ひとりの発達に添ったわくわくする環境構成を工夫していけるような学び合いの時間を確保していく必要がある。

<対策>

◎子どもの実態を全体で共有し、しかけや見守り、発見や気づきを保育者が共にあそび込み、共に探究していけるよう心がける。
◎屋礼や職務会の内容の充実、合理的な会議のあり方等のスキルアップを目指し、内容の充実やPDCAの意識の高まりを心がけていく。